

## 目 次

I. 総括研究報告	
痙攣性発声障害疾患レジストリを利用した診断基準及び重症度分類の妥当性評価と改訂に関する研究-----	1
讃岐徹治	
(資料)	
研究実施計画書	
同意説明文書	
II. 分担研究報告	
1. 痙攣性発声障害疾患レジストリを利用した診断基準及び重症度分類の妥当性評価と改訂に関する研究-----	69
兵頭政光	
(資料)	
変性疾患-痙攣性発声障害の診断基準と治療. Annual Review 神経2020 229-235, 2020	
喉頭ジストニア(痙攣性発声障害). CLINICAL NEUROSCIENCE ジストニアupdate-診療ガイドライン2018を超えて 38(9): 1122-1124, 2020.	
臨床研究支援センターの役割-地方大学における医師主導治験の支援を中心に-. 日本外科学会雑誌 121(5): 554-556, 2020.	
The prevalence and clinical features of spasmodic dysphonia: A review of epidemiological surveys conducted in Japan. ANL 48: 179-184, 2021.	
Botulinum toxin injection into the intrinsic laryngeal muscles to treat spasmodic dysphonia: A multicenter, placebo- controlled, randomized, double-blinded, parallel-group comparison/open-label clinical trial. Eur J Neurol ,2020.	
2. 痙攣性発声障害疾患レジストリを利用した診断基準及び重症度分類の妥当性評価と改訂に関する研究-----	92
大森孝一	
3. 痙攣性発声障害疾患レジストリを利用した診断基準及び重症度分類の妥当性評価と改訂に関する研究-----	93
香取幸夫	
4. 痙攣性発声障害疾患レジストリを利用した診断基準及び重症度分類の妥当性評価と改訂に関する研究-----	94
折館伸彦	
5. 痙攣性発声障害疾患レジストリを利用した診断基準及び重症度分類の妥当性評価と改訂に関する研究-----	95
西澤典子	
(資料)	
発声発語障害の基礎知識.発声発語障害学第3版, 医学書院: pp2-41, 2021年2月	
6. 痙攣性発声障害疾患レジストリを利用した診断基準及び重症度分類の妥当性評価と改訂に関する研究-----	121
城本 修	
(資料)	
音声疲労質問紙VFI(Vocal Fatigue Index)日本語版の信頼性と妥当性の検証 音声障害患者と若年-壮年健常成人における検討音声言語医学61 (1) 50-602020	
ケプストラム分析用の日本語課題文の検者内・検者間信頼性と課題文の再現性 音声言語医学 61 (4) 315-330 2020	
7. 痙攣性発声障害疾患レジストリを利用した診断基準及び重症度分類の妥当性評価と改訂に関する研究-----	145
原 浩貴	

8. 痙攣性発声障害疾患レジストリを利用した診断基準及び重症度分類の妥当性評価と改訂に関する研究-----	146
楯谷一郎	
(資料) Hyperactive sensorimotor cortex during voice perception in spasmodic dysphonia. Sci Rep. 10(1)17298 2020.	
9. 痙攣性発声障害疾患レジストリを利用した診断基準及び重症度分類の妥当性評価と改訂に関する研究-----	157
二藤隆春	
10. 痙攣性発声障害疾患レジストリを利用した診断基準及び重症度分類の妥当性評価と改訂に関する研究-----	158
上野 悟	
11. 痙攣性発声障害疾患レジストリを利用した診断基準及び重症度分類の妥当性評価と改訂に関する研究-----	159
溝口兼司	
12. 痙攣性発声障害疾患レジストリを利用した診断基準及び重症度分類の妥当性評価と改訂に関する研究-----	160
柳田早織	
13. 痙攣性発声障害疾患レジストリを利用した診断基準及び重症度分類の妥当性評価と改訂に関する研究-----	161
大佐賀智	
(資料) 統計解析計画書	
14. 痙攣性発声障害疾患レジストリを利用した診断基準及び重症度分類の妥当性評価と改訂に関する研究-----	174
中川聡史	
(資料) レジストリワークシート	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	----- 184